
Et Voilà!

2019年5月26日号 (第11号)

【Amazing Grace】

先日、NHKFM 平日 18:00 からの「夜のプレイリスト」を、車を運転しながら聴いていました。この番組は、その週の担当した人が、思い出のアルバム、人生に影響を与えたアルバムを日替わりで紹介するというもので、この週の案内役は中川翔子さんでした。

松田聖子さん、シャンソン、アニソンなどのアルバムを紹介していたのですが、この日は、本田美奈子さんの「AVE MARIA」(2003年5月コロムビア)でした。

中川翔子さんというと、アニメ、コスプレ、猫というような単語が浮かんでくるくらいで、あまりよく知りませんが、とても好感が持てる女性だと思っていたいました。猫好きという共通点で、なんとなく惹かれてしまうのかもしれませんが(彼女は10匹ほど飼っているそうです)。

この日に流れた本田美奈子さんも、アイドル歌手でスタートし、ミュージカルやクラシックなどに活躍の場を広げたということくらいしか知りません。「1986年のマリリン」を歌っていた女の子が、いつのまにかミュージカルをやっているのをみて、びっくりした覚えがあります。それも、元アイドル歌手とは思えない(もともと歌唱力はありましたが)歌声に、さらに驚いたものです。きっとたいへんな努力をされたのでしょう。

中川翔子さんもミュージカルに出演するために勉強や稽古を重ねたそうですが、そのときに繰り返し聴き参考にしたのが、本田美奈子さんのアルバムだったそうです。

2005年11月、本田美奈子さんが急性骨髄性白血病で亡くなったとニュースで流れたときには、とても驚きました。特にファンというわけでも

なかったですし、白血病であることもまったく知らなかったからです。

彼女が亡くなってずいぶんたってから動画サイトで、入院中に看護師さんたちに感謝の気持ちを表そうと、病室で「Amazing Grace」を歌っているのを聴きました。声はだいぶ弱々しいのですが、それでも思いのこもったとてもすばらしい歌声で、聴いていて思わず涙がこぼれました。それから、ときどき彼女の歌を聴くようになりました。

中川翔子さんのお父さんの勝彦さんも32歳で、翔子さんが9歳のとき、美奈子さんと同じ急性骨髄性白血病で亡くなったそうです。彼女はいまACジャパンの「日本骨髄バンクキャンペーン」で、32歳で亡くなった父はもっと生きたかったはず、その無念を伝えながら、骨髄バンクへの協力を訴えています。

その勝彦さんは私と同年。ちなみに私も骨髄バンクにドナー登録をしていましたが、55歳を超えたので、いまは登録を外れています。

最近では池江璃佳子さんが白血病であることを公にしました。何よりも治療が成功し、病が寛解することを祈ります。東京五輪には間に合わなくても、まだ若いですから、次のパリ大会、あるいはそのまた次のロサンゼルス大会に出られるかもしれません。たとえオリンピックに出られなくても、第一線で競技が続けられなくても、水泳のインストラクターやテレビのレポーター、キャスターなどで活躍できるかもしれません。

生きていれば、自分の夢や希望をかなえられるのです。たとえかなえられなくても、その実現に向かって努力はできるのです。とにかく生

きていればこそです。

翔子さんもお父さんのことを思い起こすたびに、同じようなことを考えているのではと思いますし、本田美奈子さんもそうだったと思うの

【利用時間の変更その他のお願い】

コンビニが24時間営業を見直すようになったなど、人手不足や働き方改革に関する報道をよく耳にするようになりました。当事業所でも、残業抑制や有休取得に向けて、何らかの手当はしなくてはならないと考えています。

そのためには、利用者の皆さんのご協力が不可欠です。利用者さんは必要があってその時間の利用を申し込まれているのでしょうから、こういっては誤解を受けかねないのですが、人手不足の中で利用者さんの要望にすべて応えていたら、職員の労働環境はいつまでもよくなりません。

今後は、営業時間を短縮する、無駄な待機時間を減らすなどして、残業抑制につなげたいと考えています。具体的には、6月から日曜の夕方の夕食をやめ18:00で終了しますし、各利用者さんには派遣の曜日、時間を変えていただくこともお願いするつもりです。すでに変えていただいたケースもあります。

成長してできるようになったことはひとりで

です。

こんなことを考えながら、本田美奈子さんの、聴く人を包み込むようなやさしさに満ちた、心に響く歌声を聴いていました。

やっていたこうと放課後等デイサービスなどの送迎をやめた事例がいくつかあります。もっともそのなかには、ほかの事業所に変えただけということもありますが。

利用する側としては、ご本人の生活、やりたいこと、体調、親としては、仕事の都合、他の子どもの世話、親の介護、レスパイトなどさまざまな理由があるかと思います。

しかし、ヘルパーも家庭に戻れば、同様のことに向き合わなければならぬのです。会社としては、まず職員第一。職員のやりがいや気持ちの余裕が生まれるようにしてはじめて、利用者さんのニーズに応えられるようになると思っています。

利用者さんや事業所、職員のお互いが、譲れるところは譲り合い、職員が無理をしなくてもいいように協力していきたいと思っています。そうすることではじめて、どうしても必要な緊急な依頼には、工夫して対応できるようになると考えています。

グループホーム3号館開設に向けて 介護スタッフ大募集!!

正社員 月給:22万~30万円以上

時給:1000円~1300円

1夜勤19,000円~(16:00~翌10:00)

社会保険完備 交通費(自転車を含む)支給

身体介護、家事援助、外出支援、通院支援、送迎

障害児タイムケア(障害のある子どもたちのお世話と遊び相手)

グループホーム(早朝、日中、夜間、宿泊勤務)

土日出勤、夜勤のできる人、大歓迎

発行・編集:川口仁志

特定非営利活動法人あふネット

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 6-30-4 富田ビル1F 03-3809-8500

合同会社あふまん